

すずのがけゆうすい 清水欠湧水

舟形町舟形

～平成30年度選定～



里の名水・やまがた百選

この湧水は、JR舟形駅にほど近い、国宝「縄文の女神」が出土した場所に整備した「西ノ前遺跡公園」の奥にある。湧水は、公園の東側にある湿地帯の奥に湧き出ている。低い水温を活かして、かつてはセリやクレソンが栽培されていたこともある。湧水の脇には地域の人々が建立した庚申塔（こうしんとう）がある。



〔管理者〕伊藤清紀〔保全団体〕縄文里の会



歴史や利活用

周辺は湿地帯になっており、絶滅危惧種イバラトミヨをはじめ様々な貴重動植物がみられ、自然観察にはもってこいの場所となっている。

この湧水の西側には、国宝にもなった「縄文の女神」が出土した「西ノ前遺跡」があり、当時のくらしに思いを馳せることもできる。

アクセス

(北緯 38.691665°、東経 140.315072°)

舟形町内、舟形町役場近く、国道13号線から県道31号線を西に西ノ前遺跡公園方面に向かう。JRのアンダーパスをくぐり、東北中央自動車道と立体交差する誇道橋手前を右折し細道を北に進むと西ノ前遺跡公園が見えてくる。公園の東側にある駐車場に車を停めて、そこから更に徒歩で湿地帯に沿って東に100mほど進む。



近くの見どころ

- <やまがた百名山 > ◆ 猿羽根山
- <日本一の滝王国山形 > ◆ 荒沢の滝 (舟形町長沢)
- <やまがた景観物語 > ◆ 猿羽根山から月山と最上川の眺め

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。

